南阿蘇村 復興むらづくりだより

VOL.28

復興推進課
TEL（67）1113

■地域を明るくするために

立野わかもん会主催で8月24日、旧立野小学校体育館を会場に「立野地域夏祭り」が開催されました。

当日は立野地域で再建された方だけではなく、馬立団地で再建された方や立野地域外で再建された方など、雨天にもかかわらず約200人が来場。

グリーンコープやマルデン、熊本大学など様々な団体の協力もあり、ヨーヨー釣りやラムネ早飲み、化石レプリカ作り体験など、子どもたちが喜ぶ催しも行われ、たくさんの笑顔があふれました。また、最後にお楽しみ抽選会が行われ、来場された方の多くが最後まで参加し、立野地域で初めて開催された夏祭りを楽しみました。

■長野地区を盛り上げよう

8月20日に開催された長野地区復興むらづくり協議会で、「長野みらい会議」のこれまでの活動報告があり、また、今後の取り組みについて承認されました。

「長野みらい会議」は50代以下の住民・関係者が集まり、数年・数十年後の長野地区をどう維持していくかを話し合うための場となっています。

これまで4回の会議が開催され、地区をどのように維持していくかという大きな課題に対し、「交流人口・関係人口の増加」という目標を定め、様々な話し合いが行われてきました。話し合いの結果、区関係者に留まらず、長野区に興味のある方、協力したい方を集めたサポーターの会を立ち上げ、コミュニティ活動の一端を担ってもらうことで地区を維持していこうと決まりました。また交流人口を増やす具体的な取り組みとして、神楽の里公園を活用したわらぞうり作りや神楽体験イベントなど、元々長野区にある資源で無理のない範囲で取り組めるものが挙げられました。

今後、この取り組みは、9月7日に行われた発足式において結成された「長野みらい盛りあげ隊」により実践される予定です。

■黒川地区「すがるの里」が視察受け入れ開始

8月23日（金）、すがるの里が視察受け入れ第1号となる大分県玖珠町社協の被災地視察の対応を行いました。当日は、約20人が旧長陽西部小学校を訪れ、復興弁当を食べてもらうとともに、すがるの里メンバーによる熊本地震体験談を聴いてもらい、意見交換を行うという内容でした。参加者からは、「大分県にも断層があり、いつ地震が起きるかわからない。今日の体験談を参考に災害への備えをしっかりやっていきたい。」と感想が述べられ、復興弁当とともに満足した様子で視察を終えられました。

■田舎に泊まろう！イベント参加者募集中

10月19日（土）～20日（日）に「はかまの会」主催で田舎体験イベントが開催されます。袴野地区の知名度アップと交流人口増加を目的としたこのイベントは、婚活の要素を含んでおり、村内の独身男性10人と村外の独身女性10人を対象としています。イベント内容としましては、村ならではの農業体験やふるまい料理、夜散歩など、一泊を通して袴野地区の良さを知ってもらうイベントになっています。

役場以外に観光協会や物産館にもチラシを置いていますので、ご興味のある方はぜひ手にとられてください。